

2024 年度 ニチキッズ木川東保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月4日（土）～2月21日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月22日（土）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	昨年に引き続き、保育理念を職員の目に付くところに掲示し、更なる理念目標の意識付けを行い保育の立案等に繋げる取り組みを行った。保育理念に則り、普段の保育や行事など、子どもが楽しめる事に焦点を当て、全職員で子どもの想いに寄り添うよう努力した。
子どもの発達援助	職員皆で、子どもの発達に応じた手作り玩具を準備したり、コーナー遊び等で自発的に遊べる環境づくりに取り組んだりした。定期的に玩具・寝具の消毒も行き、快適な環境作りに努めた。
保護者に対する支援	登降園時の会話や、連絡帳でコミュニケーションの充実を図った。1月には個人懇談を行い、子どもの成長した姿を保護者に共有し共に成長を喜び合える機会となるよう意識した。また、子育ての悩みや困り事等把握できるよう努め、保護者との信頼関係を深めることができた。
保育を支える組織的基盤	外部研修・社内研修に保育体制を整え参加。キャリアアップ研修を全職員が受講する事ができ、園内研修は、自園に必要な内容を職員と相談し行き、スキルアップに努めた。

総評
日々の保育の振り返りを、15分ミーティング等で全職員が発言し話し合う事で、子ども理解を深め共通認識を持ち、保育を行なうことができた。引き続き、職員間のコミュニケーションを大切にしながら、和やかな雰囲気でもより良い保育が行なえるよう取り組んでいきたい。また、子ども一人ひとりが、楽しかった、またやりたいと、満足感・充実感をもって生活し、毎日保育園が楽しみと思える保育を心がけていきたい。行事については、今後更に保護者と子どもと一緒に楽しみ成長を感じられるよう工夫を図り、安心して預けられ、笑顔あふれる保育園となるよう努めたい。